

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】

都道府県名	宮 崎 県
-------	-------

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	日南市立東郷小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	19
児童数	57	47	42	48	52	65	2	313	

研究の概要

1. 研究主題

確かな学力を身に付けた児童の育成  
～算数科における指導を通して～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

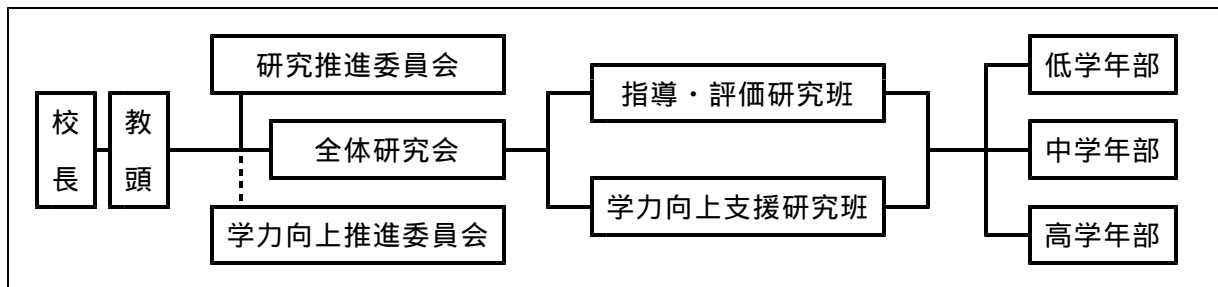
研究教科	算数
実施学年	1年 学級担任による指導 2年～3年 TT（チームティーチング） 4年～6年 SS（少数指導）
理由	児童の理解の状況に差が出やすい算数科において、全学年できめ細かな指導を実施し、児童一人一人に確かな学力を身に付けるため。

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年 度	テーマ 「個に応じたきめ細かな指導のための指導形態と指導方法の工夫」												
	研究の見通し												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">授業研究</th> <th style="text-align: center;">学力向上支援研究</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1学期</td> <td>研究授業 「問題解決的な学習の在り方」</td> <td style="text-align: center;">学習態度の形成</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2学期</td> <td>研究授業 「TTにおける個に応じた指導」</td> <td style="text-align: center;">習熟の時間</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3学期</td> <td>研究授業 「SSにおける個に応じた指導」</td> <td style="text-align: center;">家庭との連携</td> </tr> </tbody> </table>		授業研究	学力向上支援研究	1学期	研究授業 「問題解決的な学習の在り方」	学習態度の形成	2学期	研究授業 「TTにおける個に応じた指導」	習熟の時間	3学期	研究授業 「SSにおける個に応じた指導」	家庭との連携
		授業研究	学力向上支援研究										
1学期	研究授業 「問題解決的な学習の在り方」	学習態度の形成											
2学期	研究授業 「TTにおける個に応じた指導」	習熟の時間											
3学期	研究授業 「SSにおける個に応じた指導」	家庭との連携											
研究の内容・方法													
<p>&lt; 研究の内容 &gt;</p> <p>基本的な考え方（研究主題 目指す児童像）          問題解決的な学習（算数科における基本過程）          基礎・基本の定着（弾力的な指導過程）          個に応じた指導（TT SS・習熟度別学習）          学力向上支援（基本的な学習態度）          家庭・各機関との連携</p> <p>&lt; 研究の方法 &gt;</p> <p>研究授業による仮説の検証          児童の意識調査          学力検査の考察</p>													

平成16年度	<p>テーマ 「個に応じたきめ細かな指導のための指導方法の工夫」</p> <p>研究の見通し</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>授業研究</th> <th>学力向上支援研究</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学期</td> <td>研究授業 「習熟度別学習におけるより個に応じた指導」</td> <td>各教科における基本的な学習態度の形成 中学校との連携</td> </tr> <tr> <td>2学期</td> <td>研究授業 「興味・関心別学習の在り方」 公開授業 「TTによる指導」 「SSによる指導」</td> <td>家庭との連携 環境の整備</td> </tr> <tr> <td>3学期</td> <td>2年間の授業実践の成果と課題 次年度の授業研究の見通し</td> <td>2年間の実践の成果と課題</td> </tr> </tbody> </table> <p>研究の内容・方法</p> <p>&lt; 研究の内容 &gt;</p> <p>1 単位時間における習熟の時間の在り方 個人記録表を生かした指導 興味・関心別学習 各教科における基本的な学習態度の育成 中学校との一貫指導 家庭との連携</p> <p>&lt; 研究の方法 &gt;</p> <p>研究授業による仮説の検証 児童の意識調査 学力検査の考察</p>		授業研究	学力向上支援研究	1学期	研究授業 「習熟度別学習におけるより個に応じた指導」	各教科における基本的な学習態度の形成 中学校との連携	2学期	研究授業 「興味・関心別学習の在り方」 公開授業 「TTによる指導」 「SSによる指導」	家庭との連携 環境の整備	3学期	2年間の授業実践の成果と課題 次年度の授業研究の見通し	2年間の実践の成果と課題
		授業研究	学力向上支援研究										
	1学期	研究授業 「習熟度別学習におけるより個に応じた指導」	各教科における基本的な学習態度の形成 中学校との連携										
	2学期	研究授業 「興味・関心別学習の在り方」 公開授業 「TTによる指導」 「SSによる指導」	家庭との連携 環境の整備										
3学期	2年間の授業実践の成果と課題 次年度の授業研究の見通し	2年間の実践の成果と課題											

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1 研究の成果

<p>&lt; 授業研究 &gt;</p> <p>算数科における問題解決的な学習を基盤にした基本的な学習過程を構築し、各段階の指導の在り方を明確にすることができた。 TT（ティームティーチング）やSS（少人数指導）などの指導形態の在り方について理論構築し、授業実践を積むことができた。 習熟度別学習の在り方について理論構築し、授業実践を重ねることができた。</p> <p>&lt; 学力向上支援 &gt;</p> <p>基礎学力の向上のために、朝の読書や本校独自のプリントを使用した計算練習の実践を行うことができた。</p> <p>&lt; 児童の実態 &gt;</p> <p>算数科に対する児童の意識調査を行い、多くの児童が少人数指導を好むことが明らかになった。</p>
--

学力検査（NRT）における学校全体の算数科の偏差値平均が，上昇の傾向にあることが明らかになった。

<家庭・中学校との連携>

中学校と連携し，学力向上に対する研修や合同参観日を実施することができた。  
学力向上推進委員会「ぐんぐん委員会」を立ち上げ，家庭における学力向上対策について協議し，取組を始めることができた。

2 今後の課題

<授業研究>

1 単位時間の学習過程における習熟の時間の確保と充実について研究を進める。  
T TとS S（習熟度別学習や興味・関心別学習）の先進的な研究を進め，一層の充実を図り，実践を重ねる。  
個人記録表等を生かしたより個に応じた指導の在り方について研究を行う。

<学力向上支援>

各教科等における基本的な学習態度の育成の在り方について研究を行う。  
朝の読書と計算練習の充実を図り，「基礎学力」の定着を図る。

<児童の実態>

児童の学習に対する意識調査を今後も定期的に行い，その変容を明らかにする。  
学力検査を実施し，分析を行うとともに，その結果の変容を明らかにし，研究の成果と課題を明らかにする。

<各種連携>

小・中学校の一貫した指導体制と指導事項の確立・実践を図る  
「ぐんぐん委員会」の充実による家庭教育の充実・促進を図る。

学力等把握のための学校として取組

学力検査（NRT）の実施・結果分析・考察（2年～6年）  
宮崎県基礎学力調査の実施（3年・5年）  
到達度検査（CRT）の実施（1年～6年）  
児童の意識調査（3月・7月・12月実施）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

学力向上推進会議及び学力向上担当者会による研究の中間発表  
ホームページの開設

次の項目ごとに，該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- |                      |             |            |      |    |
|----------------------|-------------|------------|------|----|
| 【新規校・継続校】            | ✓15年度からの新規校 | 14年度からの継続校 |      |    |
| 【学校規模】               | 6学級以下       | 7～12学級     |      |    |
|                      | ✓13～18学級    | 19～24学級    |      |    |
|                      | 25学級        |            |      |    |
| 【指導体制】               | ✓少人数指導      | ✓T・Tによる指導  |      |    |
|                      | 一部教科担任制     | その他        |      |    |
| 【研究教科】               | 国語          | 社会         | ✓算数  | 理科 |
|                      | 生活          | 音楽         | 図画工作 | 家庭 |
|                      | 体育          | その他        |      |    |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 |             | ✓有         |      | 無  |